

平成27年度「倉吉市特別支援リーダー育成研修会」概要

倉吉市教育委員会事務局学校教育課

- 1 目的 発達障がい等配慮を要する児童生徒に対する応用行動分析の知識と技術を学び、問題行動に対して適切な対応ができ、特別支援教育に関する事例検討で指導や助言のできるリーダーを養成することを目的とする。
- 2 実施日 9月11日（金）13：00～16：45（第2回）
- 3 主催 倉吉市福祉保健部子ども家庭課 倉吉市教育委員会学校教育課
- 4 対象者 保育士、小中学校教諭
- 5 講師 井上 雅彦氏
(鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座教授)

6 内容

テーマ

「ユニバーサル教育システム」

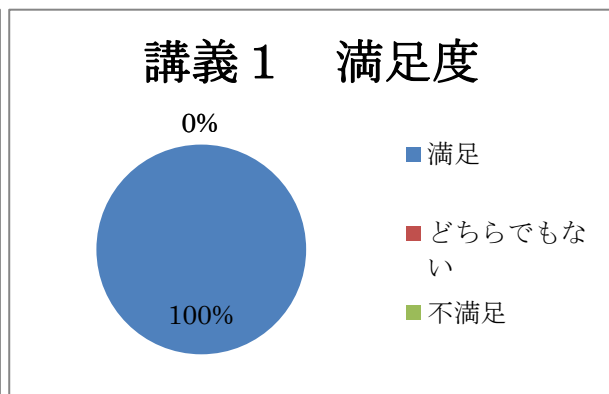
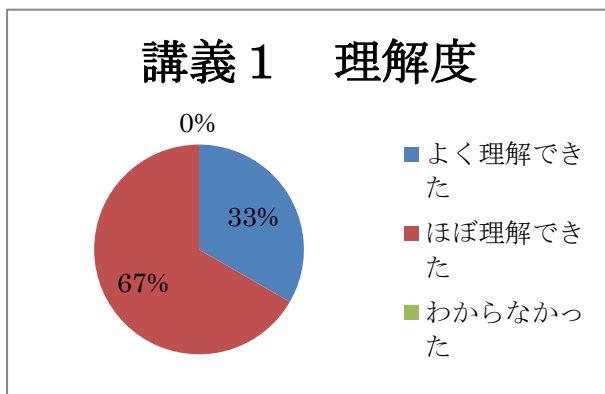
- ◆講義1 「授業・保育改善チェックシートの活用」
- ◆講義2 「校内支援体制の構築のために」「保護者に対する対応・支援」
- ◆演習 「小中学校からの実践報告～ステラジーシートを用いて～」

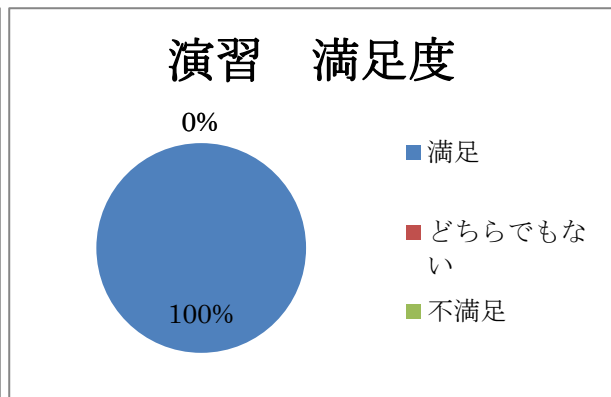
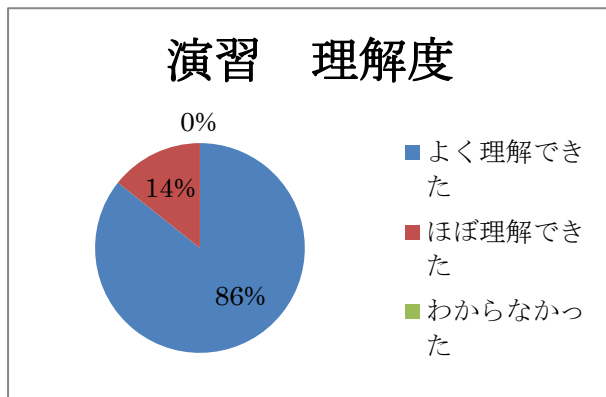
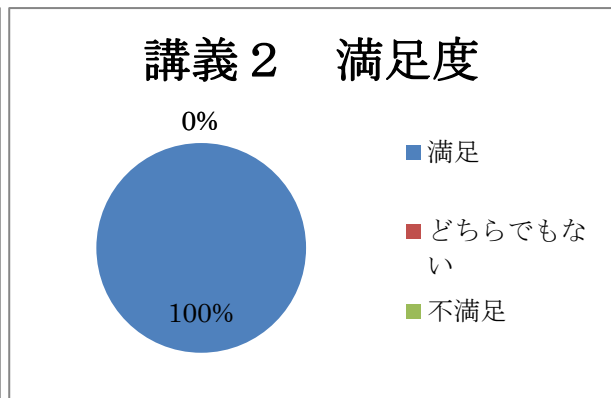
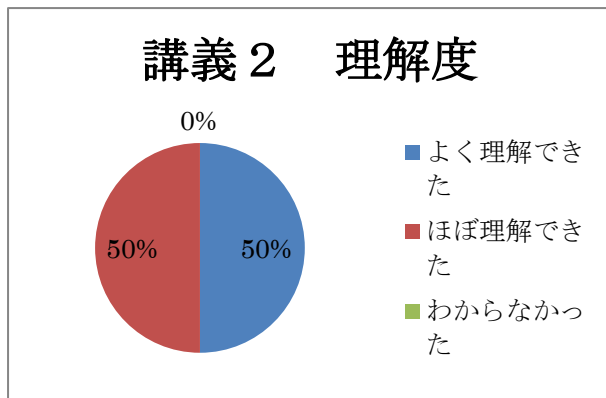
児童・生徒の気になる行動の分析を行い、支援方法を話し合うための「ステラジーシート」と、すべての子どもが学びやすい保育・授業を実践するために「授業・保育改善チェックシート」を活用し振り返りを行うことについて、事例をとおして理解を深めることができた。指導者の意識改革が児童生徒の困り感の減少へつながることを確認した。

保護者への支援は、アドバイスよりも先に共感しながら聞き、柔軟に寄り添う姿勢の大切さを学んだ。



7 研修後のアンケート結果と感想





参加者の感想

◆講義1について

- ・ユニバーサルデザインの授業をすることで、基礎的環境整備を底上げするということを納得できました。
- ・振り返りシートは園に持ち帰り、早速皆に話し、活用していきたいと思いました。

◆講義2について

- ・教師間の話し合いが大事。指導方針について共通理解を図ることが大事。その話し合いができる機会を組織として定着し、流れを作っていきたい。
- ・支援体制について、今一度見直していきたい。

◆演習について

- ・生徒の問題行動について、背景にあることや本人の気持ちを受け入れる余裕を持ちたい。
- ・職員間の連携の難しさがあるということも感じました。

◆その他

- ・支援教育で必要なこと！！ 子どもへの対応の共通理解(見逃すところ、守らせるところ)(職員同士)
- ・柔軟性を持って生徒に指導できる教師になれるよう学んでいきたいと思います。